



◆与謝野晶子の夫、鉄幹の知られざる業績と情熱を紹介◆

さかい利晶の杜企画展「生誕 150 年 与謝野鉄幹」を開催します

与謝野鉄幹（本名、寛）は明治 6 年（1873）、京都に生まれました。

鉄幹は、旧派の和歌を批判し近代短歌の革新を成し遂げました。その後、時代の流れに伴い歌壇の中心からはずれ、それに対し妻の晶子の存在が大きくなっていきます。苦悩する日々の中で、作歌にとどまるだけでなく、訳詩に挑戦したり、日本語源の研究や古典文学を研究・普及したりするなど、彼が文学史において重要な活動を行っていたことはあまり知られていません。

本展では、鉄幹生誕 150 年の節目に、知られざるその業績と、生涯にわたって持ち続けた文学への探究と情熱を紹介します。

1 展覧会名

さかい利晶の杜企画展「生誕 150 年 与謝野鉄幹」

2 日時

令和 5 年 11 月 18 日（土）～令和 6 年 1 月 14 日（日）

開館時間：午前 9 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

休館日：毎月第 3 火曜日（11 月 21 日、12 月 19 日）

年末年始（12 月 29 日～令和 6 年 1 月 3 日）

3 主催・協力

主催 堺市

協力 与謝野晶子倶楽部

4 場所

さかい利晶の杜 企画展示室（堺市堺区宿院町西 2 丁 1-1）

5 観覧料

大人 300 円（240 円）、高校生 200 円（160 円）

※常設展示室（与謝野晶子記念館、千利休茶の湯館）と共通料金

※（ ）内は 10 名以上の割引料金

※中学生以下と堺市内在住の 65 歳以上の方は無料

※障害のある方とその介助者は無料（要証明書）

6 展覧会のみどころ

・与謝野鉄幹の著書を一堂に展示します

第 1 歌集『東西南北』から、没後すぐに出版された『与謝野寛遺稿歌集』までの著書をはじめ、自らが編集した『明星』『冬柏』などの雑誌や全集などを一堂に展示します。装幀は、藤島武二や梅原龍三郎、有島生馬や石井柏亭など当時の一流の画家たちが手掛けています。

・渡邊湖畔所蔵の貴重な資料を展示します

渡邊湖畔（1886-1960）は、新潟県佐渡島の実業家で漢文学に優れた文化人でもあります。鉄幹にとっては、漢詩の世界で交流ができる数少ない友人であり弟子でした。二人の交流を示す書簡を中心に、与謝野夫妻が佐渡島を訪れた時に書いた掛軸や油絵、湖畔に贈った鉄幹の遺品などを、渡辺家のご協力により展示します。

・与謝野鉄幹の愛用の品々を展示します

晶子の文学的業績に欠かすことができない存在であった鉄幹の文学性と人となりを感じていただくために、鉄幹愛用の硯や漢和辞典、自筆原稿・創作ノートなどを展示します。

7 主な展示資料

①与謝野鉄幹の還暦記念展のポスター 個人蔵

鉄幹は昭和 8 年（1933）に還暦を迎え、2 月 25 日から 3 日間にわたって記念展が開催されました。デザインは石井柏亭が手掛けています。



②与謝野鉄幹筆『日本古典全集』『土佐日記』の校正原稿 堺市博物館蔵

『日本古典全集』は与謝野夫妻らが編纂し、古典作品を安い値段で手軽に読めるシリーズ本として刊行されました。②は「土佐日記」の最後の部分がかかれた原稿用紙です。32 ページ分の校正紙が付けられ、鉄幹が朱筆でたくさんの修正を行っています。鉄幹は、より多くの人々に古典を読む機会を作りたいと、普及に情熱を注ぎました。



③与謝野夫妻・江南文三書画幅 個人蔵

片膝を立てし形にはぢらふと誇れるとあり泉のをんな 寛
廃堂の彩色に忍び極楽鳥吉祥天女はた龍女見ゆ 晶子
「蓮華峰寺（れんげぶじ）にて」

佐渡中学校の教頭で『明星』同人の江南文三が色彩豊かに描いた絵の上に
鉄幹の歌が、絵の下に晶子の歌が書かれています。



8 関連イベント

・学芸員による展示解説

日 時：令和5年12月7日（木）＊晶子生誕日＊ 午前10時30分から
令和6年1月13日（土）午後1時30分から
各日20分程度

申 込：不要、直接会場へ。（企画展示室集合）

参加費：無料（展示観覧券が必要）

問
い
合
わ
せ
先

担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課（さかい利晶の杜）
電 話：072-260-4862
ファックス：072-238-0150